

【2022年度 事業報告】

2022年も新型コロナウイルスの脅威が続き、私たちのくらしや活動にも多くの影響がありました。さらに、ロシアによるウクライナ軍事侵攻という、ありえない出来事が生じて、新たな世界的危機が気候の危機に加わってしまいました。

人類が排出している温室効果ガスによってもたらされる気候変動は、2022年も世界各地で、猛暑や熱波、干ばつ、森林火災、集中豪雨、洪水などが頻発し、甚大な被害と損害をもたらしました。パリ協定、グラスゴー気候合意のめざしている1.5℃の気温上昇を超えないためには、早急で大幅なCO₂の排出削減が必要です。

これらの複数の危機を乗り越える手段として、再生可能エネルギーの普及は不可欠です。世界では、多くの国・地域で再生可能エネルギーの普及によって、雇用を増やし、地域を活性化させて、持続可能な脱炭素に向かっていきます。ところが、国内のエネルギー政策は迷走し、先進国で唯一石炭火力発電廃止の明示がなく、高価でリスクの高い原発の稼働期間延長など、再エネの主力電源化と普及を妨げる方向に変わった年でもありました。

地域レベルでは、ようやく再生可能エネルギーを地域づくりや経済の活性化、暮らしの質向上と位置付けて普及を進めるところや、太陽光発電設置の義務づけの決定もありました。地域貢献型の新電力会社による再エネ設置や再エネ電気の販売も進みつつあります。

このような状況の中、きょうとグリーンファンドは、地域の人々や団体と連携して、私たちが学び続けながら、情報発信や環境教育活動、支援・連携活動なども行なってきました。これらの活動の成果として、市民再エネプロジェクト in 京都としての連携活動によって、新しいおひさま発電所が設置されました。加えて、2ヶ所の設置に向けた準備が進みつつあります。これまでの蓄積を活かすことができ、新しいチャレンジになっていくこととなります。引き続き、気候危機も原発もない、安心して暮らすことのできる持続可能な脱炭素地域づくりに取り組んでいきます。

太陽光発電設備設置事業

2021年から設置事業は「市民再エネプロジェクト in 京都」として、NPO 法人京都地球温暖化防止府民会議、認定NPO 法人気候ネットワーク、一般社団法人市民エネルギー京都、NPO 法人エコネット近畿ときょうとグリーンファンドが連携して進めるようになりました。

2022年度は、前年度の働きかけが功を奏し、京都府宇治市にある「ウトロ平和祈念館」に設置するプロジェクトが進んでいます。工事は完了し、点灯式は4月30日、5月いっぱいプロジェクトは終了の予定です。

その他、京都市左京区の下鴨幼稚園での設置に向けた取り組みも始まっています。聖光幼稚園と同じ日本聖公会系列の幼稚園で、聖光幼稚園のお口添えもあったと聞いています。2022年秋から始まったプロジェクトですが、まず補助金を申請するにあたって、さまざま整理が必要な事柄を整えたうえで進めることになり、次年度に補助金申請をする運びとなりそうです。

また、京都市南区にある吉祥院こども園からも申し込みをいただいています。以前より他園の事例に関心を持ち、園舎建て替え時にも太陽光発電設備設置を想定しておられましたが、資金面から見送られたようです。吉祥院こども園も次年度に補助金申請をするべく、準備を進めていきます。

このように、2022年度、2023年度は今までになくプロジェクトが次々と進みそうな流れになっていますが、過去2年間設置ができなかったことや会員の減少などもあって、「おひさま基金」の拠出が厳しくなっています。寄付金を原資とした基金で、負担感のある設置時の初期費用軽減を図り、設置後はさらなる設置と環境学習に協力をお願いして基金を運用していくサイクルが回らなくなりそうで、これは現在の大きな課題といえます。

また、2016年4月に完成した上鳥羽北部いきいき市民活動センターのおひさま発電所ですが、2021年に地域の団体が「一般社団法人上鳥羽絆会」として法人化したことから、きょうとグリーンファンドが所有していた設備を2022年6月移管しました。設置時の費用はすべて地域の団体が負担し市民共同で設置をしたものの、法人化されていなかったことから、きょうとグリーンファンドが「所有」する形となっていたもので、ようやく当初めざしていた形となった、と言えます。

おひさまでんきプロジェクト

2018年からはじまった「おひさまでんきプロジェクト」は5年経ちました。当初は珍しさもあって切替えてくれる人・団体も多かったのですが、少し中だるみの状態になっています。

小売新電力会社は、エネルギー価格の高騰に加え、顧客情報の不正閲覧や事業者向け電力販売に関するカルテル事件などに象徴される大手電力会社（旧一般電気事業者）の独占的体質が変わらない中、大変厳しい状況に追い込まれています。仕入価格が高騰し、売れば売るほど赤字になるという状態で、倒産する会社も増えています。太陽ガスも遂に2023年4月から値上げすることになりました。こんな状況もあり残念ながら2022年度の新規切替はゼロでした。

2019年からプレミア付で発電電力を買取してもらっている「上鳥羽北部いきいきおひさま発電所」は、所有権が「一般社団法人上鳥羽絆会」へ移行したことに伴って買取が終わり、プレミア付の買取は「イサクおひさま発電所」だけになりました。

学習活動

新型コロナウイルス感染予防のため、2021年度は、7件とやや実施が少なくなりましたが、2022年度は、しばらく環境学習をしていなかった園からも申し込みがあり、12件と少し回復傾向でした。久しぶりに実施した園には、前年に引き続き環境意識のアンケートを実施しました。その結果、環境に対する意識は高いままで、おひさま発電所としての自覚を感じました。ただ、おひさま発電所の事を知らない新しい先生がいらっしゃるのはどの園も同じで、継承の必要性を感じました。

① 腹話術（5件） 講師：畠山智子さん

～温暖化防止や環境への取り組みをテーマとした子ども対象のプログラム

5/30 大宮保育園（87人参加）

6/2 かすがのえん園（111人参加）

6/29 陵ヶ岡こども園（120人参加）

7/20 みょうりんえん（150人参加）

9/6 聖光幼稚園 (65 人参加)

② 自然観察会 (6 件) 講師: 板倉豊さん

5/20 おおやけこども園 (京都御苑) (66 人参加)

6/20 自然幼稚園 (京都御苑) (64 人参加)

10/25 大宮保育園 (府立植物園) (30 人参加)

11/5 みょうりんえん (京都御苑) (64 人参加)

11/12 陵ヶ岡こども園 (天智天皇陵~山科疎水) (83 人参加)

11/24 自然幼稚園 (京都御苑) (66 人参加)

~国際ソロプチミスト京都一みやこ・わかぼとの連携で開催

③ 職員研修 (自然観察会) (1 件) 講師: 板倉豊さん

6/4 みょうりんえん (園庭) (20 人参加)

サポート活動

京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター (以下いきセン) のおひさま発電所設置後、いきセンとパートナーシップを組み、上鳥羽学区でのエコ活動をサポートしています。

コロナ禍の中、夏の夜市などは中止となりましたが、少しずつ。地域活動も再開されつつあります。延期が続いていた「エコと防災イベント」も開催されました。

また、新たな取り組みとして、いきセンのエコグループを中心として、地域住民とともにエコ活動を進めるべく「上鳥羽エコまちくらぶ」を立ち上げ、一緒に活動する「上鳥羽エコメイト」を募集しています。

- ・ 7/27 エコと防災イベント
- ・ 8/6 エコ体験イベント
- ・ 11/12 上鳥羽小学校 150 周年イベントエコブース出展
- ・ 11/19 自然観察会 (ohana 会主催)

広報活動

① ニュースレター「ぐりふあんレター」の発行 (8 月、2 月)

② 印刷物作成

- ・ きょうとグリーンファンド活動紹介三つ折リーフレット
- ・ ウトロ平和祈念館おひさまプロジェクト寄付募集チラシ

③ ホームページを使った情報の発信

- ・ 活動状況・節電・省エネルギーについての情報などを会員、一般市民に向けて発信
- ・ 活動状況をきめ細かく発信できるようブログ、Facebook を更新。新しく Instagram もはじめました。
- ・ 上鳥羽北部いきいきおひさまプロジェクトのおひさま発電所設置後の活動を紹介する、ホームページ (<http://www.ktb-ohisama.net/>) で上鳥羽北部いきいきおひさま発電所の発電状況、2021 年度事業報告を掲載 (ホームページは上鳥羽北部いきいきおひさま発電所太陽光発電設備譲渡に伴い、6 月に上鳥羽絆会に移管しました。)
- ・ YouTube「きょうとグリーンファンド・ぐりふあんチャンネル」に動画を掲載しました。

寄付について

さまざまな形で寄付をいただきました。 総額	3,365,129 円
・既設おひさま発電所からの寄付 (8 件)	1,109,400 円
・一般からの寄付	605,580 円
・自動販売機寄付 (㈱シェアリングマネジメントサービス)	7,149 円
・SoftBank つながる募金	6,000 円
・ウトロ平和祈念館おひさまプロジェクト	1,637,000 円

補助金・助成金

・公益財団法人パブリックリソース財団 総額	249,395 円
ウトロ平和祈念館おひさまプロジェクト	198,050 円
一般	51,345 円

講演、事例報告、出展

- ・5/20 KBS 京都ラジオ「笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ」ゲスト出演
～再エネ 100%時代に向け おひさま発電所をもっと誕生させよう！～
- ・6/1 「創省畜エネルギー時報」おらがまち電力の編集協力
- ・6/12 立命館大学にて「NPO・NGO 論」ゲストスピーカーとして事例報告(オンライン)
- ・9/7 エコ学区サポートセンター主催「再エネ・省エネ説明会」にて事例報告

ヒアリング調査、取材、見学など

- ・9/7 高知県黒潮町 NPO 砂浜美術館 (村上健太郎理事長)おひさま発電所についてヒアリング

協力・連携

- ・認定NPO法人気候ネットワーク
- ・認定NPO法人環境市民
- ・NPO法人京都地球温暖化防止府民会議 (京都府地球温暖化防止活動推進センター)
- ・NPO法人エコネット近畿
- ・NPO法人KES環境機構
- ・一般社団法人市民エネルギー京都
- ・一般社団法人上鳥羽絆会
- ・公益財団法人パブリックリソース財団
- ・京エコロジーセンター (京都市環境保全活動センター)
- ・京のアジェンダ21フォーラム
- ・京都市ごみ減量推進会議
- ・京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター
- ・パワーシフト・キャンペーン
- ・京都市市民活動総合センター
- ・自然エネルギー学校・京都

- ・ **Fridays For Future Kyoto**
- ・ 国際ソロプチミスト京都ーみやこ・わかば
- ・ **SoftBank**つながる募金
- ・ 有限会社ひのでやエコライフ研究所
- ・ 株式会社シェアリングマネジメントサービス
- ・ ネオス株式会社
- ・ 太陽ガス株式会社（代理店：**Happy Energy**）

以上の団体と協力、連携しました。